

3月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1
Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL <http://www.atsutajingu.or.jp>

今年も豊作でありますように

祈年祭(きねんさい)

3月17日(日)
午前10:00

本宮・別宮・摂末社 祭典・神事

祈年祭は五穀豊穡と産業の繁栄を祈るお祭りです。このお祭りは「トシゴイノマツリ」ともいい、この「トシ」とは稲のことで、その実りが豊かであることをお祈りします。当日は、県下の篤農家で組織された熱田神宮豊年講の皆さんをはじめ、農業関係者多数が祭典に参列します。



烏喰の儀と韓神舞を奉納

御田神社(みたじんじゃ)祈年祭

3月17日(日)
午後2:00

御田神社 祭典・神事

五穀豊穡の神様である大年神(おとしのかみ)をお祀りする御田神社の祈年祭では、祭典の前に、「ホーホー」と唱えながらお供物を土用殿の屋根に投げ、鳥にお供物を食べさせる「烏喰(おとぐい)の儀」が行われます。祭典中には「韓神舞(からかみのまい)」という、独特の所作をする舞も執り行われ、非常にめずらしいお祭りです。

○古くは、烏喰の儀のお供物を、鳥が飛んできて食べなければ、祭典が行われなかったとも伝えられています。



お氷上さんの愉快的な神楽

氷上姉子神社太々神楽(だいだいかぐら)

3月31日(日)
午後2:00

氷上姉子神社(境外摂社) 祭典・神事

緑区大高町に鎮座する当神宮摂社の氷上姉子神社で、東海地方に広く伝播した熱田神楽を奏し、農作物の豊作を祈願します。

当日は追儺・招福などを祈る、ここでしか拝観できない六種の神楽を神前で奉奏します。

○この神楽は江戸時代中期頃より始まったといわれ、明治初年まで熱田神宮の神前でも奉納されていました。その後は神楽元に引き継がれて、やがて市南部に普及し氷上姉子神社で行われるようになりました。



熱田神宮宝物展 3月平常展

コーナー展示「屏風と装飾料紙」

3月1日(金)～3月26日(火)
午前9:00～午後4:30

宝物館 宝物展示

古来、広い邸宅の空間を仕切るため、障子や襖の他、自由な形に変形できる屏風が重宝されてきました。これら屏風の扇面には四季折々の風景や吉祥の図柄が描かれ、視る者の心を和ませてくれます。3月のコーナー展は、当神宮が収蔵するさまざまな意匠があらわされた屏風や、金銀や華麗な意匠で彩られた所謂「装飾料紙」など、約25点を含む約60点を展示・紹介します。

○[入館料] 大人300円(250円)、小中学生150円(100円)
()内は20名以上の団体料金 *入館は午後4時10分まで
[お問合せ] 052-671-0852(熱田神宮文化殿)



文化講座

『明日へのあゆみーくらしとしくみー』

3月9日(土)
午後2:00～午後4:00

文化殿講堂 教養

[演題]
中世熱田の信仰世界と宗教テキスト
[講師]
名古屋大学教授 阿部泰郎氏

○[聴講料] 無料
[お問合せ] 052-671-0852(熱田神宮文化殿)

